

環境調査結果のお知らせ

令和元年9月20日10時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は25.7~28.5℃で、前回調査時(H31.8.7)と比較して表層から1m層で0.1~0.7℃下降し、2m層から底層で0.5~0.6℃上昇しました。
塩分は23.9~32.2で、前回調査時と比較して全層で6.5~18.7上昇しました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は3.1~6.5mg/lで、前回調査時と比較して表層から1m層で0.1~0.6mg/l増加し、2m層から底層で0.5~1.4mg/l減少しました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.6mでした。
検鏡の結果、有害種は確認されませんでした。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H31.8.7)	
			差(今回-前回)
0m	25.7	26.4	▲ 0.7
1m	26.2	26.3	▲ 0.1
2m	28.4	27.9	0.5
B-1	28.5	27.9	0.6

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H31.8.7)	
			差(今回-前回)
0m	23.9	5.7	18.2
1m	24.8	6.1	18.7
2m	30.7	17.4	13.3
B-1	32.2	25.7	6.5

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H31.8.7)	
			差(今回-前回)
0m	6.5	6.4	0.1
1m	5.7	5.1	0.6
2m	3.6	5.0	▲ 1.4
B-1	3.1	3.6	▲ 0.5

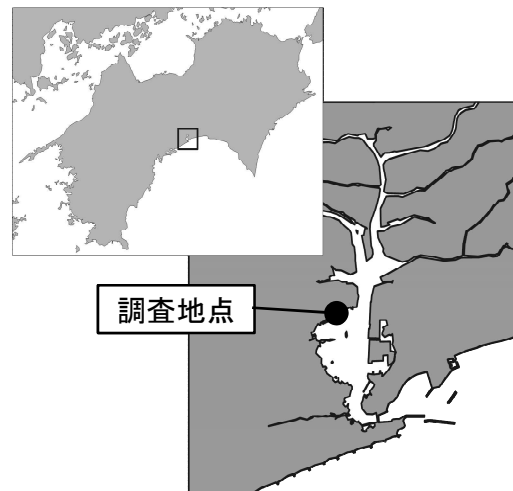


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.8	3.6
透明度	2.6	1.5

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	アカシオ・サンガイネア	ジャイロディニウム属	珪藻類	漁業被害が想定される細胞密度 ・ヘテロシグマ・アカシオ: 10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)
0	0	0	0	5	
1	0	0	0	10	
2	0	0	0	5	

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>